



仙高の風

令和2年 3月26日発行 第12号

第72回仙台高等学校「卒業式」が三月一日に、卒業生と教職員のみで挙行されました。

威風堂々 第72回仙台高等学校卒業式

3月1日、第72回卒業式を挙行し、261名が卒業しました。ウイルス感染防止のため、規模の縮小をし、ご来賓、保護者、在校生の入場が叶わない中での式となりました◇このような事態にも生徒等は、堂々と誇らしげに式に臨みました。西田匡秀さんが卒業生を代表して答辞を述べ、仙高高校での思い出を振り返りながら、これまで培ってきた絆で未来を切り拓いていくと頼もしく語りました。これからも72回生と仙高高校への応援をよろしくお願いいたします。

メッセージ(PTA会長鎌田美千子様からの言葉(抜粋))◇仙高高校での経験を生かし、これからも、心と身体を鍛え、さらに大きく成長し、強くて優しい大人になってほしい◇何事も一生懸命に、地道に取り組めば、明るい未来が広がります。皆さんが、何か少しでも、世の中のためになること、まわりの人のためになることを考え、行動してくれることが、わたしたち大人が皆さんに望むことです。



校長式辞(抜粋)◇希望の船出となる今朝、暖かな日射しとともに、西の空に祝福の虹がかかっています◇今日、卒業を迎える仙高高校72回生諸君は、将来にあっても、人を思い、つながり、励ますことができる青年です。それは、諸君のこの仙高高校で、思い切り泣いたり笑ったりした日々が育てた財産です。君たちは美しい。どうぞ、自信を持って進んでください。これからもずっと応援しています。

在校生のことば(参加が叶わなかった生徒会長安藤まなさんの送辞(抜粋))◇仙高高校の三年間は、長い人生の中でほんの一瞬。その一瞬の出来事の中にも多くの人との出会いや思い出を築き上げてきたことと思います。◇これからこの仙高高校で先輩方の明るい笑い声や、部活動に勉強にいそむ姿も見られなくなると思うと、寂しさと悲しさがこみ上げてきます。ですがその面影は、私たちの心に深く永く残ることでしょう。これからどんな困難が待ち受けていたとしても、先輩方なら、顔を上げ、前を向き、一步一步力強く歩んでいけるに違いありません。仙高高校で培ってきたその力で、いつまでも輝き続けてください。令和二年、仙高高校は創立八十周年を迎える節目の年になります。私たち在校生一同、先輩方から引き継いだ自主自立の精神を胸に、新しい仙高高校を築いていきます。



卒業生のことば(第72回卒業生代表西田匡秀さんの答辞(抜粋))

◇悲しい別れではありません。未来への希望のある別れです。◇共に過ごした仲間との別れの時が近づいてきました。寂しいですが、この次には新しい出会いがあります。私たちには「自主自立」で培ってきた力があります。どの道へ進んでも走り続ける力があります。ですがその道は決して平坦ではないでしょう。困難が待ち受けているでしょう。そんな時にはこの三年間で培ってきたことを糧に乗り越えてみせます。しかし、必ずしも努力しなければいけないわけではありません。困ったことがあれば友を頼り助け合う。この三年間の絆はそのためのものです。これからも私たちは支え合いながら止まることなく前へ進んで挑戦し続けます。



2月28日、同窓会入会式が行われました。

卒業式を間近に控えた3年生が同窓会入会式に参加しました。同窓会長から激励の言葉と記念品が贈られました。新会員の代表として倉岡莉里さんがあいさつし、入会にあたっての誓いを述べました。同窓会長加藤吉男(19回卒)様より(抜粋)「今年は創立80周年の記念の節目を迎えます。その間、二万四千名の同窓生を輩出し全国各地でそれぞれの分野で活躍をしています。創立当初より、生徒を型にはめない自由な気風が脈々と受け継がれ、それは建学の精神である自主自立の精神そのものです。これからの人生、幾多の困難もあるだろうが、今までと違い自分自身で立ち向かう必要があります。正にその力を仙台高校の三年間で培ってきたと思います。誇りと他



者への畏敬の念を忘れることなく、そしてそれにふさわしい努力をしてください。自分の進むべき道を求め、自信を持って前に進んでください」述べられました。

「いじめ根絶キャンペーンキャッチフレーズ」優秀作品

「気づこうよ いじめとふざけの境界線」この度、みやぎ高校生



マナーアップ運動いじめ根絶キャンペーンキャッチフレーズの応募作品の中から、本校佐久間慧さん(1年)の作品が選ばれました。令和2年度は、さまざまところで啓蒙活動に活用される予定です。◆◆

◇「観葉植物ユッカ」を大事に育てて後輩につなぐ命のバトン。校内いじめ防止キャンペーンの一環です。 **OF THE YEARは3年1組⇒**



3.11 東日本大震災から9年

大阪市立泉尾工業高校硬式野球部の西浦敏彦監督から本校硬式野球部石垣光朗監督へ毎年3月11日に贈られてくる野球用品。宮城・仙台を忘れないというお気持ちが本当にうれしいお話です。



河北スポーツマガジン『Standard宮城』に仙台高校男子バスケットボール部が取り上げられました。

◇3年ぶりに県新人大会でベスト8に進出した仙台高校。チームの指揮をとる本校OBで体育科の佐藤達哉教諭も取り上げられました。また、「宮城のバスケット界で変革への挑戦が始まっている!!」と、**仙台89ERSの特集**も生まれ、本校OBで現社長の渡辺太郎さん(50回生)やプレーヤーの片岡大晴さん(56回生)が取り上げられました。他にも、3人制バスケットで東京オリンピック出場が有力視される小松昌弘さん(55回生)も特集されています。



仙高歴代モットーの心技一体で一生懸命戦う"仙台イズム"

◇また、「次なる舞台へ」で、

卒業する末永天さん(3年)が大学での抱負を語りました。⇒



◇卒業式の朝、送ってくれた父、母に手を振る姿



第72回生クラス幹事となった三條聖奈さんは、「小中と親が見てくれていた中での晴姿だった。卒業の実感が湧かない?父は送迎だけでがっかりしていた。母は準備しなくてすむねと笑っていましたが、でも見たかったなあ、残念だけど仕方ないねと。」



3月19日もうひとつの卒業式

1日の卒業式に参加できなかった卒業生のために「もうひとつの卒業式」を校長室で執り行いました。◇鶴順二学年主任や担任の早勢雅彦教諭から一言ずつメッセージが述べられた後、副担任の佐藤綾子教諭から本人をイメージし選んだという歌のCDのサプライズプレゼントもありました。「希望していた大学に入れました。頑張ります」と本人から抱負が述べられました。

卒業証書を手渡す校長



2月25日、第2回学校評議員会兼学校関係者評価委員会が開催されました。

今年度の本校の教育活動について評価をいただくとともに、次年度へ向けての助言もいただき大変活発な会となりました。学校評議員の菅原敏彦様、岡本洋様、堀江謙一様、鎌田美千子様ありがとうございました。



2月26日、学校保健委員会・安全衛生委員会が開催されました。

第2回学校保健委員会が開催され、今年度の生徒の健康管理等についてご指導いただきました。本校管理校医海瀬信子先生(内科)、佐藤昭矩先生(内科)、綿谷秀弥先生(耳鼻科)、山口克宏先生(眼科)、齋藤善広先生(歯科)、土川清人先生(歯科)、武藤巧先生(薬剤師)、ありがとうございました。また、その後に開催された第4回学校安全衛生委員会では、校内安全点検後の改善状況を報告、一層の環境整備を進めるためのご助言、ご指導をいただきました。

令和2年度高校入試合格発表が行われました

3月16日午後3時、280名の合格発表が行われました。新型コロナウイルスの影響で3月2日から学校が臨時休業となるなど、様々な不安が重なり大変な中での受験でした。見事合格された皆さんと会える日を在校生・教職員楽しみにしています。



〒981-8502

仙台市青葉区国見6-52-1 Tel 022-271-4471

Fax022-271-1136 URLhttp://www.sendai-c.ed.jp/~sendaihs/

担当:主幹教諭 板橋俊文

『仙高の風』バックナンバーはホームページからもご覧いただけます